

厚生省令第15号適合ポリマーセメントモルタル

エレホン JWプライマー

JWプライマーは、劣化した上水道コンクリート構造物の補修用に開発した下地調整塗材です。溶出性が低く耐水性が高いエマルジョンを組み合わせたことで、ノンポリマー製品に比べてドライアウトのリスクを低減し、高い接着安定性を実現させました。

JWプライマーは、厚生省令第15号に適合しておりますので、上水道インフラの維持にお役立て下さい。

特長

- ▶ **適合規格** 厚生省告示第45号による浸出試験の結果、厚生省令第15号水道施設の技術的基準を定める省令第一条17.ハに適合しています。
- ▶ **接着性** ポリマーセメントモルタルであり、シーラー処理材であるERシーラーを併用することでドライアウトのリスクを低減し、安定した接着性が得られます。
- ▶ **耐久性** コンクリートの性質に近い素材なので、経年劣化しにくく、耐久性に優れます。

用途

- ▶ 劣化した上水道施設（浄水場、配水池、沈殿池など）のコンクリートに被覆する際の下地調整に

配合及び材料使用量

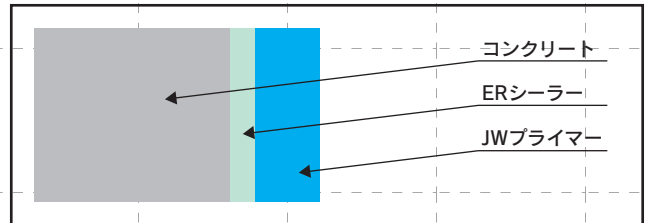
● JWプライマー

配合	JWパウダー	20kg
	JW混和液	0.8kg
	水	2.6~3.1kg
塗り厚別 材料使用量 (kg/m ²)	2mm	3.29
	3mm	4.93
	5mm	8.22
	10mm	16.43
練上り量		12.66 l
積算比重		1.643
1m ³ 使用量		1,643.2kg (79セット)

● ERシーラー

ERシーラー	水	m ³ 使用量	施工面積
18kg(1)	27kg(1.5)	200g	225m ²
4kg(1)	6kg(1.5)		50m ²

● 施工図



● 荷姿

- JWプライマー
 - ・ 粉体 20kg
 - ・ 混和液 0.8kg
- ERシーラー
 - ・ 18kg缶
 - ・ 4kgポリ容器



【施工要領】

1. 下地洗浄
コンクリート下地の浮き、脆弱部、レタンス、油類などを高圧洗浄機などで丁寧に洗浄し、健全なコンクリート面を露出させて下さい。
2. 吸水調整
乾燥したコンクリート下地の吸水により材料の伸びが悪くなる上、ドライアウトを起こす可能性がありますので、ERシーラーでシーラー処理を行って下さい。(シーラー処理配合 ERシーラー 1 : 水1.5)
3. JWプライマー混練
規定配合で計量し、ハンドミキサーやモルタルミキサーで混練します(低速ミキサー推奨)。
攪拌時間の目安は1~2分程度※とします。材料が均一になったら攪拌を止め、過度な攪拌はしないで下さい。
混練量は、JWプライマー練り上がり後30分以内に使い切れる量として下さい。
※低速ミキサー使用、混練量1/2~1セツト以上の場合。攪拌時間はミキサーの種類、回転数や混練量等により調整して下さい。
4. JWプライマー塗布
攪拌したJWプライマーを所定の方法で塗布します(塗布厚2~10mm)。
5. 養生
溶剤系仕上材を塗布する場合、夏期で3日以上、冬期で7日以上養生を行って下さい。
無機系・無溶剤・水系仕上材の場合、1日養生を行って下さい。被覆を行う際、塗装仕様に表面含水率が指定されている場合は、その指示に従って下さい。

【性能】

試験項目	材齢	試験結果	試験方法
圧縮強度 (N/㎡)	3日	21.9	JIS R 5201 (セメントの物理試験方法)
	7日	29.8	
	28日	36.0	
曲げ強度 (N/㎡)	3日	4.5	JIS R 5201 (セメントの物理試験方法)
	7日	5.9	
	28日	7.0	
接着強度 (N/㎡)	3日	1.6	建研式 (ERシーラー規定量塗布)
	7日	2.1	
	28日	2.2	
透水量※ (g)	7日	5.0	JIS A 1404 (建築用セメント防水剤の試験方法) 水圧及び時間:0.3MPa×1時間

※ 普通モルタル基板 (S/C=2.5) に JWプライマーを5mm塗布した。(普通モルタル基板の透水量は79.4g。)

注) 上記は、当社実験室で試験を行った結果であり、品質保証値ではありません。

●使用上の注意

- ご使用に際してはSDS(安全データシート)をよく読んで下さい。
- モルタルライニング材ではありません。必ず、仕上材(ライニング材)を塗布して下さい。
- 本製品は専用樹脂およびセメント系無機質粉体の組み合わせで形成されています。製品中のセメント成分の性質上、現場条件によっては白華現象(含有成分の析出)が起こる可能性があります。(施工後、完全硬化前に結露、雨水等の水分が付着しないように適切な養生を行って下さい。)
- JWプライマーに、専用樹脂であるJW混和液以外の樹脂は、使用しないで下さい。
- 他のセメント、骨材、混和材の混入は避けて下さい。
- シーラー処理が不十分であるとドライアウトを防止できないことがあります。吸水の激しい下地は特に、ERシーラー乾燥後水を吹きかけて、すぐに吸水しないことを確認して下さい。
- 材料攪拌の際、低速ミキサーの使用を推奨します。(高速ミキサーでは、エアを多く巻き込むため、物性が低下することがあります。)
- 混練には、アルミニウム製の羽根は絶対に使用しないで下さい。
- 気温が5℃以下になる場合は施工を避けて下さい。
- 高温時、練り上がり温度は35℃以下(望ましくは30℃以下)になるように冷水等で調整して下さい。
- 粉体は湿度の低い場所で、樹脂は直射日光を避け5~35℃で保管して下さい。
- 練り水を過剰に加えないで下さい。(物性が低下します)
- 一度練った材料の練り返しは絶対にしないで下さい。(物性が低下します)
- 低温時は凍害の恐れがありますので、採暖やシート養生を行って下さい。
- 長時間の直射日光が当たる場合や強風の場合はシート養生を行って下さい。
- 練り水は水道水水質同等のものを使用し、洗い水の使用は異常硬化の原因になりますので絶対に使用しないで下さい。
- 廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して下さい。
- 一旦開封した製品は、即日中に使い切ってください。
- 万一、目に入った場合は速やかに多量の清水で洗浄し、直ちに専門医の診断を受けて下さい。
- 飲み込んだ場合は、無理に吐かせず、口の中を洗浄後、医療処置を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合は、直ちに多量の清水で洗い落とし、湿疹や炎症の兆候が見られる場合は医師の治療を受けて下さい。
- 閉所で使用する場合は換気を十分に行って下さい。

●浸出試験結果報告書



●本資料について

- 本資料の技術情報は、当社の試験・研究に基づいたもので、信頼しうる情報と考えられます。しかし、記載の諸性能および特性などは、施工条件などにより本資料と異なる結果を生じることがあります。
- 本資料の記載事項は、予告なしに変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

代理店

北海道	札幌	札幌	札幌
青森県	青森	青森	青森
岩手県	盛岡	盛岡	盛岡
宮城県	仙台	仙台	仙台
秋田県	秋田	秋田	秋田
山形県	山形	山形	山形
福島県	福島	福島	福島
茨城県	水戸	水戸	水戸
栃木県	宇都宮	宇都宮	宇都宮
群馬県	高崎	高崎	高崎
埼玉県	さいたま	さいたま	さいたま
千葉県	千葉	千葉	千葉
東京都	東京	東京	東京
神奈川県	横浜	横浜	横浜
新潟県	新潟	新潟	新潟
富山県	富山	富山	富山
石川県	金沢	金沢	金沢
福井県	福井	福井	福井
山梨県	山梨	山梨	山梨
長野県	長野	長野	長野
岐阜県	岐阜	岐阜	岐阜
静岡県	静岡	静岡	静岡
愛知県	名古屋	名古屋	名古屋
岐阜県	岐阜	岐阜	岐阜
愛知県	名古屋	名古屋	名古屋
三重県	津	津	津
滋賀県	彦根	彦根	彦根
京都府	京都	京都	京都
大阪府	大阪	大阪	大阪
兵庫県	神戸	神戸	神戸
奈良県	奈良	奈良	奈良
和歌山県	和歌山	和歌山	和歌山
徳島県	徳島	徳島	徳島
香川県	高松	高松	高松
愛媛県	松山	松山	松山
高知県	高知	高知	高知
福岡県	福岡	福岡	福岡
佐賀県	佐賀	佐賀	佐賀
長門県	長門	長門	長門
熊本県	熊本	熊本	熊本
大分県	大分	大分	大分
鹿児島県	鹿児島	鹿児島	鹿児島
沖縄県	那覇	那覇	那覇



特殊セメントの分野を大きくリードする

エレホン・化成工業株式会社

EREWON

<http://www.erewhon.co.jp/>

- | | | | | |
|----------------|-----------|----------------------|--------------------|--------------------|
| ●本社・工場 | 〒870-0141 | 大分県大分市三川新町1-2-23 | TEL (097) 552-2251 | FAX (097) 552-2213 |
| ●いわき工場 | 〒979-3112 | 福島県いわき市小川町上平字中平30-3 | TEL (0246) 83-2600 | FAX (0246) 83-2677 |
| ●大阪支店 | 〒532-0003 | 大阪府大阪市淀川区宮原5-1-3 | TEL (06) 6842-7500 | FAX (06) 6842-7544 |
| ●福岡支店 | 〒814-0151 | 福岡県福岡市城南区堤1-9-10 | TEL (092) 874-6990 | FAX (092) 862-6398 |
| ●関東・東支店 | 〒340-0055 | 埼玉県草加市清門1-248-3 | TEL (048) 951-1987 | FAX (048) 951-1988 |
| ●仙台支店 | 〒984-0012 | 宮城県仙台市若林区六丁の目中町6-2 | TEL (022) 287-7221 | FAX (022) 287-7222 |
| ●名古屋支店 | 〒463-0048 | 愛知県名古屋守山区小幡南3-5-21 | TEL (052) 758-1889 | FAX (052) 758-1890 |
| ●札幌営業所 | 〒007-0805 | 北海道札幌市東区東苗穂5条3-2-32 | TEL (011) 786-6051 | FAX (011) 786-6052 |
| ●盛岡営業所 | 〒020-0838 | 岩手県盛岡市津志田中央3-6-11 | TEL (019) 681-9531 | FAX (019) 681-9532 |
| ●新潟営業所 | 〒950-0963 | 新潟県新潟市中央区南出来島1-10-23 | TEL (025) 280-9282 | FAX (025) 283-6262 |
| ●関東・北営業所 | 〒320-0056 | 栃木県宇都宮市戸祭2-5-5 | TEL (028) 680-6313 | FAX (028) 680-6323 |
| ●関東・西営業所 | 〒224-0064 | 神奈川県横浜市都筑区平台19-24 | TEL (045) 306-6200 | FAX (045) 949-2015 |
| ●静岡営業所 | 〒422-8058 | 静岡県静岡市駿河区中原743-1-1F | TEL (054) 270-9380 | FAX (054) 270-9381 |
| ●北陸営業所 | 〒920-0027 | 石川県金沢市駅西新町2-11-25 | TEL (076) 204-9417 | FAX (076) 204-9418 |
| ●神戸営業所 | 〒652-0032 | 兵庫県神戸市兵庫区荒田町3-75-1 | TEL (078) 599-6630 | FAX (078) 599-6631 |
| ●広島営業所 | 〒739-1731 | 広島県広島市安佐北区落合2-41-22 | TEL (082) 841-2350 | FAX (082) 841-2360 |
| ●北九州営業所 | 〒807-0801 | 福岡県北九州市八幡西区本城1-19-1 | TEL (093) 616-8470 | FAX (093) 616-8471 |
| ●熊本営業所 | 〒861-8045 | 熊本県熊本市東区小山2-14-47 | TEL 050-3399-7419 | FAX (096) 388-6227 |
| ●鹿児島営業所 | 〒890-0082 | 鹿児島県鹿児島市紫原1-5-1-25 | TEL (099) 284-0533 | FAX (099) 284-0535 |
| ●機工レホン・技研本社 | 〒781-0270 | 高知県高知市長浜5226-13 | TEL (088) 805-2332 | FAX (088) 841-2322 |
| ●機工レホン・技研松山営業所 | 〒791-8042 | 愛媛県松山市南吉田町1408-1 | TEL (089) 974-8225 | FAX (089) 974-8230 |